

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は、就職後の初赴任地が札幌で、赴任時に初めて北海道の地を踏みました。あれから早くも13年が経過し、将来に亘って私の財産になると思われる出会いと業務を経験することが出来ました。

建設コンサルタントとしてのスタートは、斜面表層崩壊、砂防、地すべり対策工の調査・設計で、その後は自然環境調査、河川の底質・水質浄化対策、ダムの堆砂対策に係わる業務を主としながら、土壌汚染対策、堤防の質的整備、河道計画及び流域の土砂動態等の業務に従事しました。当時は、担当業務の分野が定まらず、自らの専門性を見出せないことに不安を感じ、もっと“自分”を出さないと特長のない便利屋になってしまう、という焦りがありました。

そのような中、自然再生分野の業務に従事するようになり、転機を迎えました。ほとんど前例が無い事業に対して発注者や上司等と昼夜を問わず議論を重ね、現地調査→状況把握→課題の洗い出し→対策の計画→見直しを繰り返す濃密な日々となりました。このとき、豊富とは言えないまでも、それまでの多分野の業務経験が生き、自分なりに色々な観点から課題を洗い出していく癖がついたように思います。また、飽くなき探究心を持つ発注者との議論の過程で、多くの新たな発見をすることが出来ました。

これまでに、財団への出向、現在の会社への再就職を経験し、北海道での足場を得たような気がしています。長い人生、今後も自分なりの考えを持って業務や研究に従事し、多くのことを吸収して技術力の向上を図り、その技術を活用して少しでも社会貢献できるように取り組んでいきたいと考えています。

## 住友 慶三 (すみとも けいぞう)

●建設部門(建設環境)

### 勤務先

株式会社 ドーコン  
e-mail : ks1578@docon.jp



→ 次号は、佐野敏博さん(建設部門)

私は、北海道札幌市に生まれ育ち、江別で大学時代を過ごしました。小学校から大学まで野球ばかりしており、勉強などほとんどしないまま、平成6年に現在の会社に入社し、農業農村整備事業の計画業務に携わり16年が過ぎました。

この原稿を書いている時は、東日本大震災の被害、復興に向けた動き、その対応といったことが盛んに報道されています。実質被害を受けなかった私は、何が出来るのか、何をすべきか、日々考えますが有効な答えを見出せずにいます。多額の義援金を贈る事もできず、節電で援助することもできず、残るは技術で、といっても大きな技術力を持ち合わせているわけでもありません。震災による農業被害額約7,500億円(H23.5現在)。原発による農作物の風評被害等を合せると、今後とんでもない被害額となることも考えられます。食糧自給率低下、食の安全安心にも影響することでしょう。ひょっとすると、北海道農業の発展に微力ながら関係することで、何か協力できるのではないかと、できることを探そう、できるはずだ。今はそのように考えています。何はともあれ、早期の復興を心より祈念いたします。

農業農村整備事業を取巻く情勢は、依然として大変厳しく、公共事業が減少する中、多くの仲間が業界を去りました。それでも、農業土木技術が果たす役割は、終えることなく継続するものと確信しております。今後も技術力の向上に励み、農業土木技術者として成長していきたいと思っています。

## 渡部 正幸 (わたなべ まさゆき)

●農業部門(農業土木)

### 勤務先

株式会社 ルーラルエンジニア  
計画・水利部門



→ 次号は、玉山政宏さん(農業部門)